

事業所名

House of Veda

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念	House Of Vedaでは”経験”の中で育む支援を大切にしています。制限や強制的なアプローチは行いません。自発性を大切に、個人の成長や発達を支援します。ヨガ×療育の新しいカタチで、子どもたちとご家族のサポートを大切にします。個々の発達の遅れや偏りに対して、新たな神経回路をつくることを目的として、あらゆるアプローチを展開しています。		
支援方針	まず“お互いのことを知る”というところを丁寧に取り組みます。その中で ①もっと伸ばせるところをどんなアプローチで高めていくかを見つける ②伸ばせる得意分野と共に養える苦手なゾーンを洗い出して、どのようにアプローチできるか見定めていく。 この2点を見つけていけるように関わります。		
営業時間	月曜～金曜 土曜・長期休暇	10 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	乳幼児期は、子どもと養育者の信頼関係が深まる大切な時期です。愛着が安定すると、安心感を持ち、健康的な生活習慣の定着につながります。そのため、愛着形成を土台に、心と体を育める環境づくりを大切にしています。 支援のポイントとして、①安心感を育む関わり（スキンシップや言語・非言語コミュニケーションを通じた信頼関係の構築）、②生活リズムの安定、③健康的な体の育成（運動や探索行動の促進）を重視しています。これらを通じて、子どもが「安心して過ごせる」「自分は愛されている」と感じられる環境を整えます。 愛着形成を基盤とすることで、生活習慣の定着、健康的な体づくり、人との関わりの上へつながり、子どもたちの健やかな成長を支えています。	
	運動・感覚	運動・感覚の支援は、机上のトレーニングではなく、実際の経験を通じて発達するものです。そのため、楽しみながら体を動かし、感覚を統合する機会を増やすことが、子どもの「生きる力」につながっていきます。感覚統合を促すことを目的に、特に触覚の育成を大事にしています。これは、触覚からの情報を基に、傾きを感じ取る力を発揮し、力加減を調整するからです。幼児期以降は、定期的に足裏測定、姿勢写真の撮影を行い、現状と次に養うポイントを確認しています。	
	認知・行動	日常により近い空間の中で、認知トレーニング（記憶力・問題解決能力・情報処理能力の強化）・非認知トレーニング（情緒のコントロール、ストレス耐性の向上）・運動と認知機能の関連強化プログラム（身体を動かしながら考える力を養う）を行っています。運動や行動として外に現れている事柄の背景となる想いや感情を、自分自身で自覚していけるように対話を大事にしています。子どもたちの「好き」の背景にある想いや経験、そこで生まれる感情を言語化できるように、子どもの発達段階に応じて支援しながら、徐々に自分で表現できるよう関わります。運動や行動の背景を自覚できることで、「自分らしい選択に自信を持つ強さ」を大切にできるように関わります。	
	言語コミュニケーション	日常により近い空間の中で、SST（ソーシャルスキルトレーニング）（対人関係の基本スキル獲得）・TEACCHアプローチ（視覚的な支援を通じた自己理解の促進）ABAアプローチ（行動の評価と介入による適切な言語・コミュニケーションの形成）を行っています。姿勢改善を通じて、口腔機能や呼吸のコントロールを改善し、発話の安定をサポートします。また、感覚統合支援により、固有感覚を強化することで、発話の安定をサポートするとともに、聴覚・視覚からの情報処理がスムーズになり、言語理解・さらなる表出に繋がります。SSTやTEACCHを活用し、相手の話を聞く力、自分の想いを言語化する力を強化し、対人コミュニケーションの自信をつけていきます。	
	人間関係 社会性	人と関わることは、「楽しい」「安心する」「一緒にやってみたい」という気持ちを育てる大切な場です。この気持ちが大きくなると、お友達と一緒に遊んだり、気持ちを伝えたりできるようになります。しかし、感覚統合の課題や姿勢・運動機能の未発達によって、社会性の発達に困難を抱える子どもたちも少なくありません。たとえば、感覚過敏や鈍麻により、他者との距離感が適切に取れなかったり、刺激を避けるあまり社会的な場面での関わりが希薄になったりすることがあります。また、姿勢やバランス感覚が不安定だと、眼球運動にも未熟さが出てしまい、情報収集に偏りが出ます。そこで、「感覚統合・姿勢改善を基盤とした社会性の向上」を目的とし、体験を通じたプログラムを実施することで、他者との関わりをより自然なものにし、「生きる力」としての社会性を育てることを目指します。安心できる環境の中で、人と一緒にいることの心地よさを育てていきます。	
家族支援	各活動の写真付き報告書をお渡しし、情報を共有しています。また、家庭でも役立つ姿勢改善のアドバイスを提供しています。保護者の方が自身の「ゆるむ」時間を確保できるよう、お茶会や面談の機会を持たせて頂いています。	移行支援	必要に応じて、幼稚園・保育園と連携を図ります。当施設は、児童発達支援と放課後等デイサービスを提供する多機能型施設であり、切れ目なく支援を行うことができます。特に進学や進級のタイミングでは、子どもたちへの支援に力を注いでおり、情緒面でのサポートにも重点を置いています。
地域支援・地域連携	感覚統合や姿勢改善の重要性を地域の教育・保育施設へ発信しています。地域イベントやワークショップを通じた啓発活動も行っています。	職員の質の向上	毎朝・夕の会議では、各自の視点から子どもの様子を共有し、より効果的な支援方法を検討しています。また、定期的に職員研修を実施し、支援の質の向上に努めています。さらに、外部研修にも積極的に参加し、自己研鑽を重ねています。
主な行事等	毎月のおけいこVeda（フラダンス・サッカー・ダンス・そろばん・器械体操・ARTなど）、季節ごとのパーティー、夏祭りなど		